

## 《クラブマネジャーにインタビュー！》

### 「地域みんなから愛されるクラブ」をめざして！

『総合型地域スポーツクラブ 春日館』 理事長 龍山 義弘さん

#### Q1 総合型地域スポーツクラブにかかわったきっかけは？

龍山 私が高校の3年間、「春日館」という町道場に下宿してお世話になり、就職した後も相撲の指導者として運営に関わっていました。そのような中、仕事で「総合型地域スポーツクラブ」の普及に関わり、総合型の仕組みを勉強するうちに多目的、多世代、多志向のクラブにすることが、これから「春日館」という組織を永く存続させていくための「最善」の選択だと思ふようになりました。



#### Q2 なぜ、総合型にすることが最善だと思われたのでしょうか？

龍山 昭和51年に「春日館」が設立された当初は企業から運営費などのバックアップを受けていましたが、会社の事情もあり、クラブが金銭的に自立する必要がありました。しかし、「相撲」に興味がある方の人数は限られており、相撲をする人だけでなく、より多くの方に関わっていただくためには、総合型にすることが「最善」だと考えました。



#### Q3 他に「総合型」にするメリットはありますか？

「相撲で子どもの健全育成をする。」「相撲の全国大会で活躍する選手を養成する」といった目標はありましたが、それよりもお世話になった組織(クラブ)をいつまでも永く残したいという目標の方が大事なんです。組織がなくなったらすべて終わりですから。単一種目、単一世代にすると人の出入りは限られた人間、限られた時間帯だけになります。少子、高齢社会ですから活動が徐々に先細っていくのは目に見えています。



#### Q4 運営にあたって一番の苦労は、何ですか？

龍山 一番はお金のやりくりです。講師への謝礼、施設借用料、駐車場借用料などを会員さんからの会費で賄わないといけません。会員さんの金銭的な負担を軽減するためには会員数を増やさないとはいけません。一つの教室で活動できる人数には限りがあり、会員数を増やすためにはメニューを増やす必要があります。そのためには指導者が必要。指導者に来ていただくにはお金が必要と…。悩みはつきません。(笑)



#### Q5 将来はどんなクラブにしていきたいですか？

龍山 悩みやうまくいかないことも多いですが、私がスポーツで学んだことは「強い思いを持って物事に挑み続ければ、思いは叶う。」ということです。「地域みんなから愛されるクラブ」となるために工夫と努力を重ねて行きたいと思ふます。お世話になったこのクラブを残すことは、私の人生のミッションとなりました。

総合型地域スポーツクラブ 春日館

設立年月日 平成 24 年 6 月 9 日

活動拠点 松山市浮穴地域

活動種目 相撲、ブラジリアン柔術、ヨーガ、健康体操など

連絡先(事務局) TEL 089-956-0106